

おしめ乾燥処理実績

令和5年4月～令和6年3月

		焼却量(t)	おしめ処理 前(kg)	おしめ処理 後(kg)	利用した熱 量(MJ)	計画・目標値 (MJ)	達成率(%)
令和5年	4月	265	3,120	710	5,439	8,000	68.00%
	5月	143	3,140	720	5,462	8,000	68.30%
	6月	124	4,120	1,020	6,997	8,000	87.50%
	7月	0	0	0	0	8,000	0.00%
	8月	21	4,400	930	7,832	8,000	97.90%
	9月	35	2,620	540	4,695	8,000	58.70%
	10月	0	0	0	0	8,000	0.00%
	11月	75	4,300	840	7,809	8,000	97.60%
	12月	361	2,580	480	4,740	8,000	59.20%
令和6年	1月	302	3,610	720	6,523	8,000	81.50%
	2月	98	4,420	910	7,922	8,000	99.00%
	3月	228	3,410	710	6,094	8,000	76.20%
合計		1,652	35,720	7,580	63,512	96,000	66.20%

※本来、この設備によるおしめを乾燥させる熱源は、通常 ガスバーナー（若しくは灯油等）を使用する事により、

温風を発生させるが、排ガスの熱を利用する事により、乾燥用の温風をつくり出している。

熱回収量の根拠は、下記の通りである。

蒸発水分量 × 蒸発潜熱

焼却施設の熱回収計画・目標値(MJ)を表中の通り定めている。